

# 小論文

2月25日(日) 情報学部(情報社会学科) 9:30 ~ 11:30

## 注意事項

### 試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(2枚)に受験番号を記入しなさい。

### 試験開始後

- 3 この問題冊子は、3ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて別紙解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は、採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・書き出し・改行後は、一マスあけない。</li><li>・句読点なども1文字と数える。</li><li>・英数字は一マスに2文字入れてよい。</li></ul> |
|--|

- 6 問題は、声を出して読むはいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

### 試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

次の文章は、『増えるものたちの進化生物学』（市橋伯一著、筑摩書房、2023年）の一部です。よく読んであとの問いに答えなさい。なお、問題作成のために文章を一部改変しました。

著作権の関係上，公表しません。

著作権の関係上，公表しません。

著作権の関係上，公表しません。

問1 下線①「社会の歯車になる」とはどういう意味か。本文の具体例を挙げつつ、200字以内で述べなさい。

(配点 40%)

問2 情報社会において、下線②「やさしさの進化」はどのように変容していくと考えられるか。400字以内で述べなさい。

(配点 60%)

## 採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文(私費外国人:令和6年度)	問題番号	
対象学部・学科(課程)等	情報学部(情報社会学科)		
出題のねらい	<p>進化生物学に関する文章を題材として用い、日本語の文章を正確に読む能力と人の協力関係に関する内容を理解する力、そして今後の情報社会の展開についての意見を問う。</p> <p>問1は、日本語の文章を正確に読む能力と、文章を適宜要約しながら設問に的確に答える能力が問われる。「歯車」が本文の中でどのように説明してあるか、適切な部分を抜き出しながら説明させる。</p> <p>問2は、情報社会学科への進学後に必要となる情報社会への関心や問題意識が問われる。「やさしさの進化」が持つ意味を理解し、それが今後の情報社会でどのように展開されていくか、具体的な事例をもとに自分の意見を整理して述べることを求める。</p>		
採点基準	<p>問1(配点40%)</p> <p>日本語を時間内に正確に読んでいるかを評価する。この設問では、「歯車」について、作者がどのように説明しているかを的確に要約して解答することができているかを評価する。</p> <p>問2(配点60%)</p> <p>「やさしさの進化」は今後、どのように展開していくか、を具体的かつ明確に述べる点、自分の考えを具体的に、説得力をもって表現できている点を評価する。これまで社会がどのようなものであり、現在、どのように変容しつつあるか、今後どうなっていくと予想されるか、将来の見通しを整理して述べる能力を問う。ふだん情報社会の進展をどう意識して生活しているかを根底から問う問題となっている。</p>		